

マニユライフ生命、業界初*の ショートメッセージ(SMS)を利用した即日入金サービスを開始

契約者が保険料などを臨時入金するニーズに対応

マニユライフ生命保険株式会社(代表執行役社長兼CEO:ギャビン・ロビンソン、本社:東京都新宿区、以下「マニユライフ生命」)は、2016年4月1日より、契約者のお客さまへの利便性向上の一環として、Pay-easy(ペイジー)とスマートフォンのショートメッセージを組み合わせた、即日入金サービス「らくらくペイ」の導入を開始いたしました。

今回新たに開始するサービス「らくらくペイ」は、お客さまからの臨時的な保険料の入金や、契約者貸付制度利用後の返済に役立つサービスです。これまでの振込票による入金方法では振込票の郵送に時間がかかりますが、新サービスでは、コールセンターからスマートフォンのショートメッセージによりお客さま情報と振込口座情報を連絡後、すぐにコンビニエンスストア、各種金融機関およびインターネットバンキングで入金が可能となります。業界初となるスマートフォンのショートメッセージ機能を利用した入金サービスは、お客さまが手元で迅速に確認でき、電話による口頭での伝達よりも口座情報が正確に伝えられるという利点があります。

当サービスの導入により、特に保険契約の失効が間近である場合など急ぎの臨時入金が必要となるケースなどにおいて、入金に関するお客さまへの利便性が拡大されます。

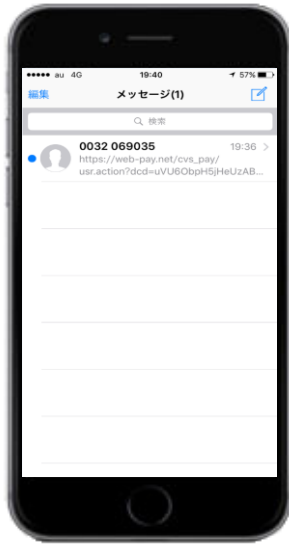
マニユライフ生命では、今後もお客さまの求める情報・サービスをご提供できるよう、努めてまいります。

* 当社調べ(2016年4月時点)

マニユライフ生命 即日入金サービス「らくらくペイ」の仕組み



マニライフ生命「らくらくペイ」のショートメッセージと表示画面の例



- ① ショートメッセージに「らくらくペイ」の URL が送信されてきます。



- ② ショートメッセージの URL をクリックすると、ログイン画面が表示されます。コールセンターから伝えられたパスワードを入力します。



- ③ お客さま情報や振込口座情報、支払方法選択画面およびページ照合番号/コンビニ支払番号などが表示されます。画面の案内にしたがって支払います。

マニライフについて

マニライフ生命は、マニライフ・ファイナンシャル・コーポレーション(マニライフ)のグループ企業です。

マニライフ・ファイナンシャル・コーポレーションは、世界有数の大手金融サービスグループです。米国においてはジョン・ハンコックのブランドで、その他の地域ではマニライフとして事業を行い、お客さまの資金や金融面における重大な決断をサポートする先進的なソリューションをご提供しています。マニライフは、個人・団体・機関投資家のお客さま向けに、ファイナンシャル・アドバイスや保険、資産運用・形成のための商品やサービスをご提供しています。2015 年末時点で、マニライフは世界中でおよそ 34,000 人の職員と 63,000 人のエージェントおよび数千の販売パートナーを擁し、2 千万人のお客さまに商品やサービスをご提供しています。マニライフの管理運用資産は、2015 年 12 月 31 日現在およそ 9,350 億カナダドル(6,760 億米ドル)です。また、過去 1 年の間にお客さまにお支払いした保険金、給付金および利息は 246 億カナダドル超となりました。

マニライフは主にカナダ、米国、アジアで 100 年以上にわたって事業を展開しています。カナダのトロントに本拠を置き、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。詳細はウェブサイト(www.manulife.com または www.johnhancock.com)をご覧ください。

